



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学 校 だ よ り

5 月 号

【ご心配をおかけしました。】

コロナウイルス感染が拡大する中、本校教職員に陽性者がでたことで、子どもたちと保護者の皆様にご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

子どもたち同様、教職員も発熱や咳等の風邪症状がある場合（同居家族も）には、出勤せず受診することを徹底しているため、接触者を最小限にとどめることができたように思います。けれども、接触者がゼロということにはならず、PCR検査にご協力をいただいた子どもたち並びに保護者の皆様には申し訳なく思います。ご協力ありがとうございました。

校内では、教職員は必ずマスクを着用し、『外したときには会話をしない』ことを徹底しています。給食中も同じ方に向けて『黙食』を心掛け、できる場合には、教職員は別室で食べたあと、マスクをして教室に戻るようになっています。

マスクの着用、手洗いの励行、教室の消毒、換気、ソーシャルディスタンス、黙食等、できることには、これからも徹底して取り組みたいと思います。

コロナ禍ではありますが、安心して登校してもらえようようにしたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【マスクの着用を】

本校には、こだわりや過敏性があるためマスクの着用が難しい、着けていても濡れたり下がったりしてしまう等で、常時マスクを着けることが難しい子どもたちがいます。もちろん一人一人の実態に応じた支援や指導を行っている本校においては、ついたてを立てる等、子に応じた配慮をしながら感染防止に努めたいと思います。

しかし、今回、保健所からの指導で、コロナ禍においては「マスクを着用していない」ことによるリスクが大きいことも分かりました。もちろん既に分かっていたはいましたが、再確認させられました。1日も早いコロナの終息を願いますが、まだまだ先が見えない今、安心して生活するためには、「マスクの着用」は欠かせないと感じています。学校は集団で学ぶところです。お友達がマスクをしている様子を見て、「自分も着けてみよう！」と思うかもしれません。ぜひ、マスクを持たせてください。学校でも練習したいと思います。よろしくお願いいたします。

【教室のCO₂濃度】

先日、教室の換気ができているかどうかを調べるために、学校薬剤師の甲加先生が来校くださいました。

温かくなり、窓を開けて授業をしているため、教室内のCO₂濃度は、323ppmでした。

学校の基準値が1500ppmであることから、「十分な換気ができている。」とおっしゃっていただきました。保護者の皆様にも、安心していただきたく、報告させていただきます。

(校長 西 千秋)

倉敷まきび支援学校ホームページ

倉敷まきび支援学校

検索



倉敷まきび支援学校 Facebook



フォロー、いいね！おねがいします
フォロワー170人突破！



